

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日： 2021年 1月 18日
事業所名： 夢門塾ゆうゆう網干

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	6	1	0	運動室が狭く、運動用の床ではないので転ぶと痛すぎる。居抜き物件なので、運動室の真ん中の柱が邪魔で危ない。
	②	職員の配置は適切である	2	1	4	基準となる人員配置は理解できるが、重度(マンツーマン対応)のお子様が多く、現段階では子どもにあった支援は難しい。人員配置、利用人数配置の見直しを行い柔軟に対応すべき。 退職者の後任が決まらず他事業所の職員がヘルプ(応援)に来ていただいて、何とか回っている状況。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4	3		昨年までマニュアルに沿った消毒・清掃業務ができていなかった。建物が老朽化しており、壁紙がはがれていたり、カーペットにカビが生えている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	6	1		業務日誌を使用するなど工夫している
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	7			毎年行っている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	7			集計後HPにて公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	6		1	もっと会議や研修の機会を確保してほしい。(お子さまの発達に良い運動や工作や調理やおやつ作り等) HPでは夢門塾アカデミー(職種によっての研修等あり)と記載しているが、実際はそのような研修は今のところ開催されていない。 人事異動や退職者が出た際に、引継ぎがなかった。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	1		子どもと保護者様のニーズに合うよう学校からの情報も取り入れ、なるべく子どもに合った計画を立てるようしているが、本当に合っているのか判断が難しい。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7			毎月の職員会議で話し合って計画している
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6		1	新型コロナウイルスの影響で外出や行事計画に制限があり、正直固定化している
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1		支援の質を高めるための工夫が必要
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	1	1	個別活動は特にできていない
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝の朝礼(ミーティング)で話し合っている
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		検証まではしていない
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7			更新時期に合わせて見直しを行っている
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	2		児童の特性に合わせて支援している

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	6	1		下校時間の変更の連絡がない場合がある
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	3	1	就学前の利用者との情報共有する場がとりにくいので、必要に応じて今後は行う
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3	1	現在は移行した児童がいないので、必要に応じて今後は行う
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	3	相談支援との連携を行っている
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5	2		送迎時に保護者様と連携をとっている
保護者様への説明責任等	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	2		契約の際にわかりやすく説明することを心掛けている
	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	5	1	1	保護者様に寄り添い、児童一人ひとりに対し、関わっていけるように必要に応じて連絡を取り合っている
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	—	—	—	コロナ対策のため本年度は開催が困難であった
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2		子どもや保護者様からの苦情があれば、迅速に対応している。必要に応じて相談支援専門員を含め対応している。何かあれば職員に周知して打開策を考え、職員全員で共通理解できるよう努めている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	6	1		【夢ブログ】・【広報誌】等で発信している
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	7			守秘義務を守っている
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1		必要に応じて絵カード等の視覚支援を活用している。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	4	1	コロナ禍で、行事の中止、外出の自粛が続き、困難な状況が続いている
	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	2		すぐに確認できるようにマニュアルを用意し、皆で周知できるようにファイルに綴っている
非常時などの対応	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6		1	年に2回行っている
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		全職員、虐待防止の研修を受けている。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	5	2		契約時に説明を行っている 今現在、該当者はいない
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	5	2		薬の浮揚がある際は記入していただき、管理に気をつけている。きちんと飲めているか、連絡帳や送迎時にお伝えしている。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	7			日頃から記入して、職員全員で情報共有している